

平成24年3月26日

独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

理事長 石川 裕己 殿

事業評価監視委員会

委員長 家田 仁

北陸新幹線（長野・金沢間）および北海道新幹線（新青森・新函館  
（仮称）間）の事業再評価の結果について

1. 事業の継続の可否に関する意見

- ① 北陸新幹線（長野・金沢間）は、事業の継続が妥当と考える。
- ② 北海道新幹線（新青森・新函館（仮称）間）は、事業の継続が妥当と考える。

2. 付帯意見

北陸新幹線および北海道新幹線は、昭和40年代に設定された設計最高速度と変わらない時速260キロメートルを前提として計画されたものである。しかし、既存の新幹線においても、時速300キロメートル級の運行が実施されていることや、世界の高速鉄道の動向を踏まえると、将来的に速度向上を図ることを検討する必要がある。